

表A 1 調整可能凸型荷重パッドの寸法

寸法	使用者の体重				公差
	25kg	50kg	75kg	100kg 以上	
幅 (mm), w	210	270	323	360	±10
高さ (mm), h	62	79	95	106	±5
長さ, l	可変※	可変※	可変※	可変※	
凸半径 (mm), R	210	270	323	360	±10
端の半径 (mm), r	21	27	32	36	±3

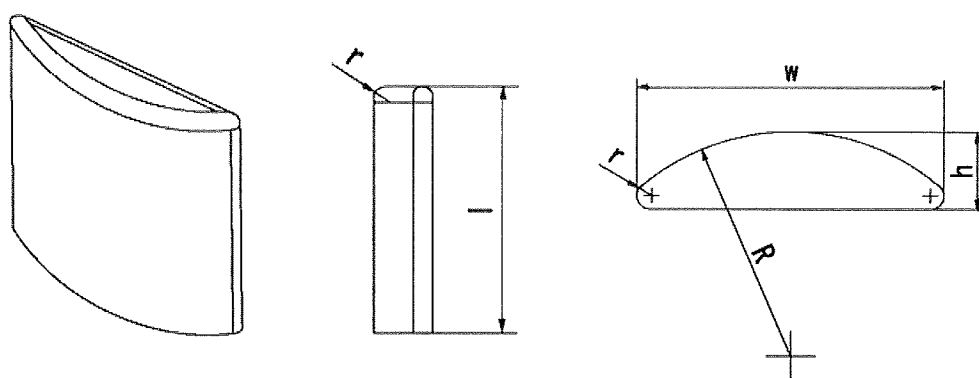
※試験する座位保持装置に合わせる

調整可能体幹用荷重パッド

調整可能体幹用荷重パッドは硬質材で作られた荷重パッドで体幹上部を代用するもの。適応使用者の体重別に寸法を規定する。

試験する座位保持装置と荷重パッド間の摩擦を減少させるために荷重パッドの外側の表面に最大厚さ 10mm のクッションを取り付け、表面にはビニールカバーを取り付ける。座位保持装置の作用レンジに合わせるために最小のパッドを選択する。例えば、座位保持装置が 25kg～49kg の体重用に作られた場合、試験には 25kg の荷重パッドを使用する。

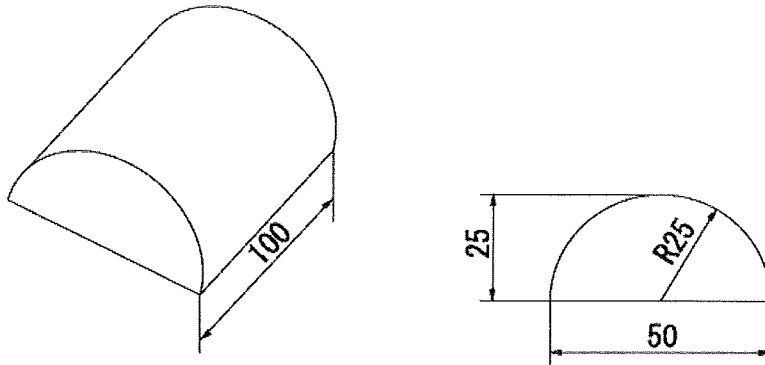
調整可能体幹用荷重パッドの例を図A 5に、寸法を表A 1に示す。



図A 5 調整可能体幹用荷重パッド

凸型荷重パッド

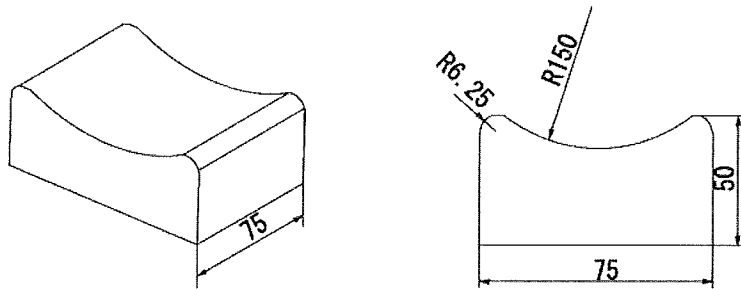
凸型荷重パッドは硬質材で作られており、寸法例を図A 6に示す。



図A 6 凸型荷重パッド

凹型荷重パッド

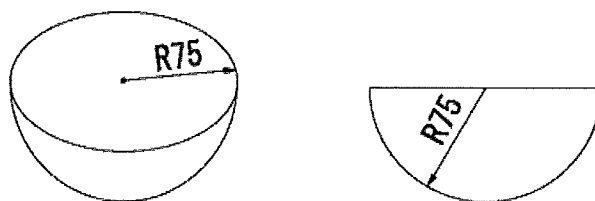
凹型荷重パッドは硬質材で作られており、寸法例を図A 7に示す。



図A 7 凹型荷重パッド

75mm 半球型荷重パッド

凸型荷重パッドは硬質材で作られており、寸法例を図A 8に示す。



図A 8 75mm 半球型荷重パッド

平成21年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）
座位保持装置の安全で適切な流通の促進に関する研究
総括・分担研究報告書

発行者 廣瀬秀行（研究代表者）
国立障害者リハビリテーションセンター
359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

